

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	85	事務事業名 (中事業名)		スポーツ教室開催事業 ()					
予算科目	10	06	01	大事業	03	中事業	00	担当課名	スポーツ課
総合計画施策コード	351		事務開始年度		不明		備考		
根拠法令等	西尾市スポーツ教室開催・運営要綱						作成月	令和元年7月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	普段スポーツをする機会のない市民にスポーツを始めるきっかけをつくり、市民のスポーツ実施率を向上させる
事業の対象 (誰(何)のために)	西尾市在住、在学、在勤者
事業の概要 (具体的に何を)	一年のうち春期10回、秋期10回、冬期8回を基本とし、様々な教室を開催をしている。バドミントンやエアロビクスなど高校生以上の男女を対象にしたものから女性を対象にした体操教室、小学生を対象とした卓球やスケートボード教室、幼児を対象とした運動教室、親子を対象にした体操教室などを行う。西尾市スポーツ協会へテニスや弓道などの教室を委託をしている。

●事業費の内訳【DO】

項目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事業費①	7,589,482円	6,350,115円	5,466,000円	
事業にかかる人工	0.20人	0.20人	0.20人	
事業にかかる人件費②	1,420,922円	1,433,482円	1,446,845円	
総事業費③(①+②)	9,010,404円	7,783,597円	6,912,845円	
総事業費の内訳③	使用料・手数料	255,500円	230,700円	252,000円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	8,754,904円	7,552,897円	6,660,845円
	その他	0円	0円	0円
H30 総事業費③の対前年度差額	-1,226,807円		H30 総事業費③の対前年度比率	-13.62%
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	一色B&G海洋センタープール閉鎖により、NPO法人ボートクラブいっしきに委託をしていた後期水泳教室が実施できなかった。平成31年度は実施しないため。			
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要		金額
	謝礼	スポーツ教室講師謝礼		2,796,600円
	委託料	西尾市スポーツ協会委託料		1,534,010円
	委託料	NPO法人ボートクラブいっしき委託料		1,191,640円

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけ成果(成果指標)を得るために、どれだけ活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	スポーツ教室受講者数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	1,800	人	1,800	人	1,400	人
	実績値	1,659	人	1,390	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	スポーツ教室教室数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	70	教室	60	教室	60	教室
	実績値④	64	教室	53	教室	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成29年度	平成30年度		令和元年度		
		140,788円	146,860円		*****		

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	西尾市スポーツ協会へテニスや弓道教室
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	スポーツ教室は、スポーツを始めるきっかけとなり、市民のスポーツ実施率を向上させるには必要の事業であるため。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	△
	国・県・市・民間との役割は適切か	◎		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	○		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか	○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか	○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	バドミントンや運動教室、親子体操は毎回多くの申込みがあり、抽選を行うことがある。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める			
	(理由)	例年同等数の参加者があるため			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	現在、スポーツ教室の一部を西尾市スポーツ協会へ委託している。総合型地域スポーツクラブへもスポーツ教室の委託ができるか検討中。				
事業全体の課題	市民のニーズを把握し、教室がマンネリ化しないようにしたい。普段体育館を利用する方たちの迷惑にならないように場所を確保するのが難しい。				

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	A市…一般対象の健康体操、ラージボール卓球、エアロビクスなど1教室11回から13回の教室があり、参加費2,900円から4,800円。親子体操・親子体操は1教室10回から13回の教室があり、参加費4,000円から4,300円。
---------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	近年話題となっているスポーツ教室を開催して欲しい。
-----------------	---------------------------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	多くのメディア媒体に目を配り、どのような競技や選手が話題になっているかを把握し、新しい教室を取り入れていく。近隣市のスポーツ教室の状況についても可能な限り把握する。
--------	------------------------------------------------------------------------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	年代別の種目等の新設を含め、多様化する住民ニーズに応える体制を整えて、受講者数の増加に繋げてください。
----------	-----------------------------------------------------

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	86		事務事業名 (中事業名)	学校体育施設開放事業 ()					
予算科目	10	06	01	大事業	04	中事業	00	担当課名	スポーツ課
総合計画施策コード	351			事務開始年度	不明			備考	
根拠法令等	西尾市内学校体育施設スポーツ開放実施要綱						作成月	令和元年7月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	スポーツの普及および市民の体力向上のため市内の学校体育施設を一般開放
事業の対象 (誰(何)のために)	市内に在住在勤または在学しているおおむね10名以上で構成された登録団体に施設を開放
事業の概要 (具体的に何を)	市内のスポーツ施設の不足を補い、市内の小中学校及び高等学校を学校側に支障のない範囲で市民に開放

●事業費の内訳【DO】

項目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事業費①	13,974,359円	13,692,853円	13,700,000円	
事業にかかる人工	0.20人	0.20人	0.20人	
事業にかかる人件費②	1,420,922円	1,433,482円	1,446,845円	
総事業費③(①+②)	15,395,281円	15,126,335円	15,146,845円	
総事業費の内訳③の	使用料・手数料	92,565円	98,175円	102,000円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	15,044,616円	14,756,460円	14,792,845円
	その他 弁償金	258,100円	271,700円	252,000円
H30 総事業費③の対前年度差額	-268,946円	H30 総事業費③の対前年度比率	-1.75%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要	金額	
	謝礼	学校体育施設開放管理指導員謝礼	8,703,000円	
	委託料	学校体育館ワックス掛け業務	2,005,278円	
	修繕料	施設修繕料	936,570円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	学校開放登録団体数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	170	団体	170	団体	170	団体
	実績値	168	団体	160	団体	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	学校体育施設利用人数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	130,000	人	130,000	人	133,000	人
	実績値④	128,653	人	130,363	人	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		120円		116円		*****	

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	委託していない	委託の内容	
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	年間約13万人の利用者があり、今後も引き続き継続する必要がある事業のため。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か	◎		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか	○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか	○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	毎年多くの団体が学校開放利用登録をし、施設を利用している。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める			
	(理由)	毎年多くの団体が学校開放利用登録をし、施設を利用しているため。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	なし。				
事業全体の課題	小中学校運動場にある夜間照明設備が経年劣化している。修繕するのに多額の費用がかかる。				

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	0市…小中学校体育館の利用時間18時から21時、体育館使用料は無料。小学校運動場夜間照明使用料は30分につき840円、中学校運動場夜間照明使用料は30分につき1,250円。原則として当該学区住民優先で利用。空きがあれば地域外でも利用可。
---------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	バドミントンのネットや支柱などの備品が壊れている。ネット等の保管場所が分かりにくい。
-----------------	--------------------------------------------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	備品の不備について連絡があった場合は、至急確認を行う。定期的にも備品の状態を確認をし、ネット等の保管場所は分かりやすい様に工夫をする。各小中高等学校に器具庫の整理をお願いする。利用団体にも元の位置に戻してもらうように周知をする。
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	住民にとって一番身近なスポーツ施設である学校体育施設のより効果的な施設開放が可能となると良いと思います。
----------	------------------------------------------------------

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	87	事務事業名 (中事業名)		スポーツ大会開催事業 ()					
予算科目	10	06	01	大事業	05	中事業	00	担当課名	スポーツ課
総合計画施策コード	351		事務開始年度		不明		備考		
根拠法令等	-						作成月	令和元年7月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	市民の健康の保持増進及び体力の向上を目指すため、スポーツ大会を開催することにより、多くの市民に参加の機会を与え、日々の生活の中にスポーツすることを浸透させる。
事業の対象 (誰(何)のために)	西尾市民が中心であるが、一色マラソン大会やにしお駅伝フェスティバルなどは広く県民にも呼びかけ西尾市をPRする。
事業の概要 (具体的に何を)	種目ごとの大会の支援を行う。さらに、安全対策として小・中学生が参加する大会には看護師等を置くなどの支援を行う。

●事業費の内訳【DO】

項目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事業費①	26,889,214円	26,965,703円	24,476,300円	
事業にかかる人工	1.00人	0.90人	0.90人	
事業にかかる人件費②	7,104,612円	6,450,667円	6,510,802円	
総事業費③(①+②)	33,993,826円	33,416,370円	30,987,102円	
総事業費内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	18,222,092円	16,960,167円	17,195,102円
	その他 参加費等	15,771,734円	16,456,203円	13,792,000円
H30 総事業費③の対前年度差額	-577,456円	H30 総事業費③の対前年度比率	-1.70%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要		金額
	謝礼	看護師等 (@1,500円×41時間)		61,500円
	その他委託料	市民体育大会始め6件		10,448,000円
	人件費			6,450,667円

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	参加者数(大会役員数含む)と入場者数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	23,400	人	23,000	人	23,000	人
	実績値	23,406	人	22,370	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	スポーツ大会開催数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	29	種目	28	種目	28	種目
	実績値④	29	種目	28	種目	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		1,172,201円		1,193,442円		*****	

事業の委託状況	全て委託している	委託の内容	大会運営全般
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和2年度
事業の終了時期が未定の場合の理由	将来に渡って、継続すべき事業であるとの観点から。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か	○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか	◎	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	◎
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	○		受益者負担の割合は適切か	◎
	他市町村と比べて上位に位置しているか	○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	◎
評価の総合的なコメント	マラソン・駅伝大会は、市外からも多くの参加者があり募集定員をほぼクリアする事業成果を上げている。市民大会は、各競技大会を行い多くの市民が参加した。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める			
	(理由)	多くの市民が参加しており、生活の中にスポーツをすることが浸透してきている。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	全競技種目民間委託している。				
事業全体の課題	マラソン大会は、概ね募集定員と同じ参加者がいるが、交通機関や会場周辺駐車場の関係から募集定員に限りがある。				

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	A市シティマラソン・市民駅伝 2大会合算総事業費1,420万円(市からの補助金890万円) H30競技参加者人数 ・シティマラソン 3,275人 ・市民駅伝 1,645人
---------------	------------------------------------------------------------------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	パラスポーツとして、一色マラソン大会への車椅子の参加を継続してほしい。フルマラソン大会が開催される際には市内在住枠を作ってほしい。また大会にゲストランナーを呼んでイベントを企画し、子供も楽しめるような大会にすることで大会の継続に繋がる。(他課職員の意見)
-----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	一色マラソン大会の車椅子参加(特定部門に限る)を継続する。フルマラソン大会については令和3年度の開催を目指して計画中で、様々な世代が楽しめるイベント等も同時に企画し、魅力的な大会となるよう検討していく。
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	スポーツ大会への参加を通じてスポーツ行政への市民参画を進め、協働社会の実現を目指してください。
----------	-------------------------------------------------

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	88	事務事業名 (中事業名)		総合型地域スポーツクラブ育成事業 ()					
予算科目	10	06	01	大事業	07	中事業	00	担当課名	スポーツ課
総合計画施策コード	351		事務開始年度		平成23年度		備考		
根拠法令等	-						作成月	令和元年7月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	市民の誰もがそれぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するため
事業の対象 (誰(何)のために)	幼児から高齢者まで男女を問わず広く西尾市民
事業の概要 (具体的に何を)	スポーツ教室を中心に、継続してスポーツを親しむ環境を作る。スポーツイベントを実施しスポーツの楽しさを体感していただくことやスポーツ教室を行う上で欠くことのできない指導者の発掘や指導者の養成を行う。また、クラブやサークルが継続して活動できるように会場確保の調整を行う。

●事業費の内訳【DO】

項目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事業費①	4,000,000円	3,376,000円	3,376,000円	
事業にかかる人工	0.20人	0.20人	0.20人	
事業にかかる人件費②	1,420,922円	1,433,482円	1,446,845円	
総事業費③(①+②)	5,420,922円	4,809,482円	4,822,845円	
総事業費の内訳③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	5,420,922円	4,809,482円	4,822,845円
	その他	0円	0円	0円
H30 総事業費③の対前年度差額	-611,440円	H30 総事業費③の対前年度比率	-11.28%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	補助金の見直しを行いました。			
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要		金額
	補助金	つるしる1,425,000円、いっしき1,000,000円、吉良808,000円、さく143,000円		3,376,000円

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	会員数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	2,200	人	2,300	人	2,400	人
	実績値	2,178	人	2,251	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	スポーツクラブ数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	5	クラブ	5	クラブ	5	クラブ
	実績値④	4	クラブ	4	クラブ	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成29年度	平成30年度		令和元年度		
		1,355,230円	1,202,370円		*****		

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	委託していない	委託の内容	-
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和2年度
事業の終了時期が未定の場合の理由	市民にとってスポーツ推進や地域交流を活発にするためには必要な団体であり、継続して永年にわたり補助していきます。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	◎	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	◎
	国・県・市・民間との役割は適切か	○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	◎
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか	○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	◎		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか	◎		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	評価は適正であり、スポーツ振興を進める上で有効な手段であると考えます。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める			
	(理由)	各クラブの会員数が増加している。活動場所は、飽和状態になってきているが、ふれあいセンター等を活動場所として会員数増加に努めている。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	なし				
事業全体の課題	活動場所、指導者の確保、事務局スペース確保、クラブ運営を担う人材の世代交代・後継者確保など様々な問題が累積しているため、クラブの継続に四苦八苦している。クラブの自主運営を目指していますが、いろんな意味でまだまだ補助が必要と思われる。				

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	西尾市4クラブ、安城市2クラブ、岡崎市1クラブ、碧南市1クラブ、豊田市12クラブ、高浜市1クラブ、刈谷市6クラブ、知立市1クラブ、みよし市3クラブ、幸田町1クラブ
---------------	-----------------------------------------------------------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	クラブへの4つの支援の継続(補助金、活動場所の優先予約、使用料の減免、事務室使用料の無料)、空調設備のある施設の充実(H30.10月 総合型地域スポーツクラブ間の情報交換会)
-----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	クラブ間の情報交換会を開催して情報を共有し、クラブの自立に向けての発展を目指します。
--------	--------------------------------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	スポーツ競技の指導者の養成やリーダーズバンクの整備を行い、個々にあったスポーツメニューが提供されるように努めてください。
----------	--------------------------------------------------------------

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	89	事務事業名 (中事業名)		体育施設管理事業 (ふれあい広場管理運営事業)					
予算科目	10	06	02	大事業	01	中事業	05	担当課名	スポーツ課
総合計画施策コード	352		事務開始年度	平成13年度		備考			
根拠法令等	西尾市体育施設の設置及び管理に関する条例						作成月	令和元年7月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	ふれあい広場の施設を適切に維持管理することにより、憩いに満ちたレジャーの場を提供する。
事業の対象 (誰(何)のために)	ふれあい広場を利用する人
事業の概要 (具体的に何を)	指定管理者制度を導入し、7年が経過した。指定管理者は、ふれあい広場の受付業務を始めプール、浴室、トレーニングルーム及びコミュニティ施設の維持管理を行っている。また、トレーニングルームの利用者への指導、プールの監視及び自主事業の様々な教室を行い、施設を使用する人の健康づくりに寄与している。

●事業費の内訳【DO】

項目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事業費①	137,152,207円	142,507,229円	145,953,000円	
事業にかかる人工	0.10人	0.10人	0.10人	
事業にかかる人件費②	710,461円	716,741円	723,422円	
総事業費③(①+②)	137,862,668円	143,223,970円	146,676,422円	
総財源業内費 ③の	使用料・手数料	1,002,851円	1,052,308円	941,000円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	136,859,817円	142,171,662円	145,735,422円
	その他	0円	0円	0円
H30 総事業費③の対前年度差額	5,361,302円	H30 総事業費③の対前年度比率	3.89%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要	金額	
	其他委託料	ふれあい広場指定管理料	114,008,000円	
	工事請負費	照明制御設備改修工事	5,886,000円	
	使用料及び賃借料	トレーニング機器借上料	7,394,976円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	ふれあい広場の利用人数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	372,661	人	373,518	人	374,893	人
	実績値	331,976	人	352,284	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	健康づくり教室の開催					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	2,070	人	2,070	人	2,550	人
	実績値④	2,371	人	2,376	人	*****	
活動一単位当たりの コスト(③÷④)		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		58,145円		60,279円		*****	

事業の委託状況	指定管理に指定	委託の内容	施設維持及び管理運営業務
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和3年度
事業の終了時期が未定の場合の理由	平成29年度から5年間を指定管理者に委託し、その後も指定管理者は公募により選定することを予定しているため。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	△	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	◎
	国・県・市・民間との役割は適切か	◎		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	◎
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	◎
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	◎		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	◎
有効性	事業の目的は達成できているか	◎	公平性	受益者に偏りはないか	◎
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	◎
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	◎		受益者負担の割合は適切か	◎
	他市町村と比べて上位に位置しているか	◎		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	◎
評価の総合的なコメント	西尾市ふれあい広場は、市内のスポーツ施設で最も集客力のある施設である。指定管理制度を実施して効率のよい管理運用をしている。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める			
	(理由)	指定管理者による施設の管理運営業務は、成果が上がっており、最も人気のある施設のひとつとなっているため、今後も継続して事業を維持していく必要がある。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	現在、豊和・辻村グループを指定管理者として管理運営を委託している。				
事業全体の課題	平成24年度から現在の指定管理者に委託しており、運営に関しては評価も良く課題は見当たらない。しかし施設が19年目に入り、老朽化が進んでおり修繕費が増加する傾向にある。				

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	A市マーメイドパレス、K市ウォーターパレスKC、H市福祉ふれあいプール、KO市温水プール
---------------	----------------------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	スポーツ志向や健康志向が高まる中、プールなどを利用した健康づくり教室を開催する。また、各種教室の開催頻度を高めるなど、リピーター客の利用促進を図る。混雑時には駐車場が不足するので、利用者に対してわかりやすい情報提供を心掛ける。
-----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理を適正に行い、大規模な改修工事も計画的に行い施設の延命化を図る。 利用者拡大のための教室・講座の開催を更に検討する。
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	利用者に支障をきたさないように計画的な改修を行い、更なる利用促進に努めてください。
----------	-------------------------------------------